「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	高効率ヒートポンプ給湯機の導入	シート番号	A29051
システム・設備	給湯・温水利用設備	6 類型	電化
削減余地順位	全体：9 位　産業部門：50 位　業務部門：7 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　▶ 削減余地の大きい 5 業種（診断件数 20 以上）

	全体	産業部門	業務部門	75 宿泊業	85 社会保険等の事業	80 娯楽業	79 生活サービス業	76 飲食店
削減余地［千 t-CO_2］	2,783	147	2,636	532	486	333	307	292
診断件数	3,303	1,216	2,087	215	484	129	52	46
診断時提案数	232	30	202	30	100	5	1	3
診断時提案率	7[%]	2[%]	10[%]	14[%]	21[%]	4[%]	2[%]	7[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	75 宿泊業	85 社会保険等の事業	80 娯楽業	79 生活サービス業	76 飲食店
事業報告書提案数	205	26	179	24	94	5	1	3
事業報告書実施数	23	1	22	2	17	0	0	0
事業報告書実施率	11[%]	4[%]	12[%]	8[%]	18[%]	0[%]	0[%]	0[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	89.0	20.7	1.12	24.6
	導入コスト	[千円]	88,163	15,459	500	19,374
	運転コスト削減	[千円/年]	3,326.6	621.2	99.8	823.0
	投資回収年数	[年]	198.8	21.3	4.6	34.0
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	22.5	5.7	0.713	7.0

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	0	実施理由の半数は補助金の活用で半数は省エネ効果根拠の確実性
	補助金を活用できたため	11	
	投資回収年数が短いため	2	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	10	
	その他　（無回答を含まず）	0	
未実施理由	初期費用が高かったため	24	初期費用、投資回収年数など費用に係るものが約半数で、既存設備継続使用判断が 3 割ある。
	提案された設備の機能や運用に懸念	3	
	補助金を活用できなかったため	1	
	投資回収年数が長かったため	12	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	2	
	既存設備がまだ使えたため	23	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	1	
	その他　（無回答を含まず）	11	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	21031	LED 照明の導入	
2	11135	高効率パッケージエアコンの導入（老朽化更新を含む）	
3	29031	高効率給湯器・温水ボイラー（ガス式・灯油式等）の導入	○
4	29012	給湯利用期間の短縮	○

※ 特記事項

実施された対策について（表 3）

(1) CO_2 削減量 30[t-CO_2/年]以上は 6 件あり、最大事例は電気式温水器をエコキュートに更新したもので事業所 CO_2 削減割合は、25[%]。（補助金活用）

(2) 導入コスト 20 百万円以上が 10 件あり最大事例はエコキュートの導入で CO_2 削減量は 28[t-CO_2/年]。

(3) 投資回収年数が 30 年以上は 7 件で、うち 100 年を超える事例は 2 件で、いずれも更新時期に併せて行われたもので灯油焚きボイラーから電気式ヒートポンプ給湯機更新している。

(4) 事業所 CO_2 削減割合 10[%]以上は 5 件で、うち最大事例は、灯油を使ったボイラー給湯を電気式の高効率ヒートポンプ給湯器に更新して CO_2 削減量 29[t-CO_2/年]の成果。（補助金活用）